

週間漁海況情報—第40号

平成22年10月18日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.10.18）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で接岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、25～27℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道および海部沿岸で23～25℃台である。

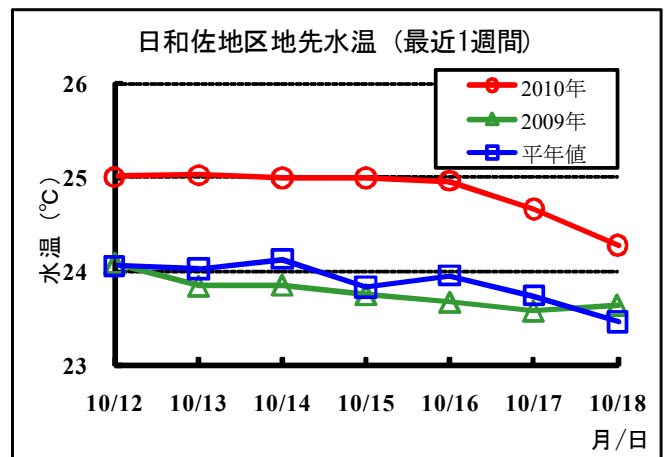
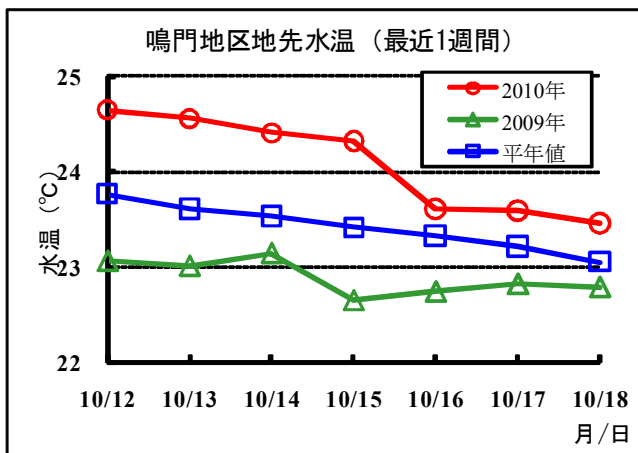
紀伊水道外域では、先週に引き続き和歌山県沿岸から暖水が流入している。また、暖水の一部は紀伊水道内部に進入している。伊島の北東から南西方向にかけて、内海系水と黒潮系水の潮境が形成されている。海部沿岸上灘では、24℃台の内海系水に覆われており下り潮の様様。

漁業調査船「とくしま」により10月7、13、14日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の25.5～25.7℃、50m層で「高め」の25.8℃、100m層で「やや高め」の19.9℃であった。

海部沿岸海区観測結果

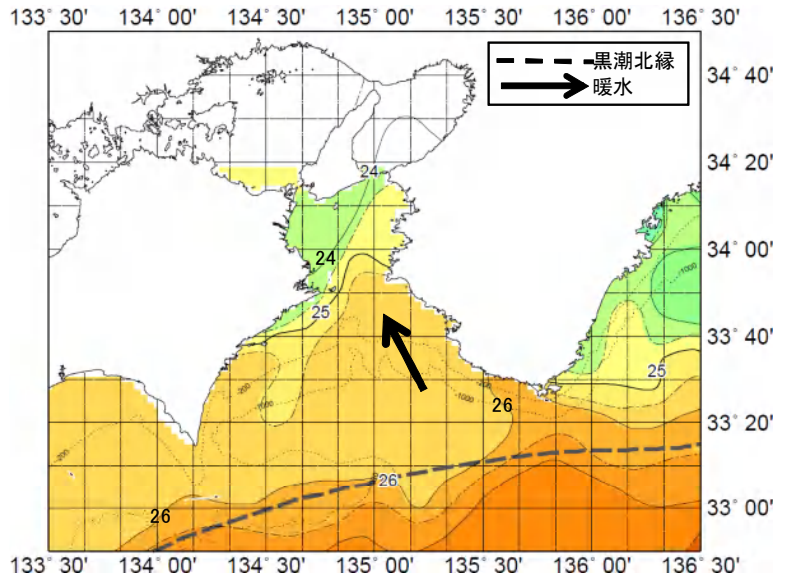
観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
10/7, 13, 14	今年値	25.5	25.5	25.6	25.7	25.8	19.9	33.3	33.4	33.6	33.7	34.0	34.6
	平年偏差	0.8	0.8	0.8	0.9	1.6	0.7	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.1
	前年偏差	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	-0.9	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	0.0	0.1

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の23.5～24.7℃、日和佐地区で「やや高め」の24.3～25.0℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の24.0～25.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、アカカマスが1.3トン(1日1隻当たり18kg)、カマス類が0.3トン(同5kg)、小主体にヒラソウダが0.3トン(同5kg)、小主体にマアジが0.6トン(同8kg)、小主体にマルアジが3.2トン(同45kg)、マルソウダが0.5トン(同7kg)、ヤマトカマスが1.2トン(同17kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.2トン(同6kg)、カワハギが0.2トン(同5kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが1.0トン(同44kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが152トン(同950kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 10月11日～10月17日

県下4漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アカカマス	72	1,282	18	
		カマス類	72	346	5	
		ヒラソウダ	72	324	5	小主体
		マアジ	72	594	8	小主体
		マルアジ	72	3,208	45	小主体
		マルソウダ	72	483	7	
		ヤマトカマス	72	1,228	17	
釣り	海部沿岸	イサキ	39	241	6	
		カワハギ	39	203	5	
		紀伊水道	サワラ	22	967	44
パッチ網		シラス	160	152,000	950	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の23℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の23℃台後半～24℃台で推移する見込み。

他県情報：宮崎県のパッチ網でシラスが10.2トン(1日1隻(統)当たり678kg)水揚げされた。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月19日～25日には、海部沿岸の小型定置網で中主体にタチウオ2.6トン、釣りで大・小主体にタチウオが3.1トン、紀伊水道の釣りでサワラ1.4トン、紀伊水道のパッチ網でシラス11.6トンが漁獲されていた。